

謝 辞

平成 12 年 12 月に開始しました静岡県地域結集型共同研究事業も、数多くの研究成果を挙げ、5 年間の事業期間を終えることとなりました。

本事業におきましては、LD を用いた高強度フェムト秒レーザーと超高密度フォトン反応制御技術を融合した実証レーザーシステムを開発し、そのシステムを応用した新医療分野等をはじめ産業人に新規産業を想起させる数々の基盤技術の提案をすることができました。国産唯一の LD をキーデバイスとする全固体フェムト秒レーザーの開発は産業開発のネックになっていた海外依存の不安定さの大幅な低減が可能になり、静岡県の提唱する「フォトンバレー構想」の実現に向けて大きな一歩を踏み出すことができました。

地域における新たな産業創出につながるこのような成果に加え、将来の地域産業の姿を考えることができる多くの有益な成果を創出できましたのは、文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構を始めとした関係機関の強力なご支援の賜であると考え、ここに、事業に関係された多くの方々に感謝の意を表したいと思います。

今後、本事業の成果については、形成される地域 COE の拠点やこの地域の魅力に引き寄せられる人々との連携を緊密にして地域産業の活性化が図れるように、新技術・新産業の創出に向けた取り組みを進めていきたいと考えております。関係機関各位におかれましては、引き続きのご支援を賜りますようお願いいたします。